

バレエ界の奇才 マシュー・ボーン of 最新作!

この愛は、一瞬の永遠

マシュー・ボーン of
シンデレラ
Matthew Bourne's
Cinderella
Music by Prokofiev

[演出・振付] マシュー・ボーン [音楽] セルゲイ・プロコフィエフ [出演] ニュー・アドベンチャーズ NEW/ADVENTURES

2018年10月3日(水)~14日(日) TOKYU THEATRE Orb 東急シアターオーブ

渋谷ヒカリエ11階

主催: ホリプロ/TBS 企画制作: ホリプロ



The Dancers

[主な出演予定キャスト]

Cinderella ~シンデレラ~

Harry, the Pilot ~ハリ
(パイロット)~

The Angel ~天使~

The Stepmother ~継母~



Ashley Shaw
アシュリー・ショー

Cordelia Braithwaite
コーデリア・ブレイスウェイト

Andrew Monaghan
アンドリュー・モナガン

Edwin Ray
エドウィン・レイ

Liam Mower
リアム・ムーア

Paris Fitzpatrick
パリス・フィッツパトリック

Madeleine Brennan
マドレーヌ・ブレナン

Anjali Mehra
アンジャリ・メーラ

※公演ごとの配役は、ニュー・アドベンチャーズの意向により、各公演当日の発表となります。公演中止の場合を除き、チケットのお申し込み、ご購入後の変更、キャンセル、払い戻しはできませんので、予めご了承ください。

2018年10月3日(水)~14日(日) 東急シアターオーブ

10月	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月・祝	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日
12:30				◆	◆		◆	◆	◆	◆	◆	◆
13:30		◆	◆			休演	◆	◆	◆	◆	◆	◆
17:30				◆	◆		◆	◆	◆	◆	◆	◆
18:30	◆	◆					◆	◆	◆	◆	◆	◆

[チケット料金] (全席指定・税込)

SS席 14,000円 / S席 12,800円
A席 9,800円 / B席 5,500円

一般発売 7月7日(土)

※未就学児入場不可 ※開場は開演の30分前

※車いすでご来場のお客様は、お早めに座席番号をホリプロチケットセンターまでお知らせください

[チケット取扱]

ホリプロチケットセンター 03-3490-4949

(平日 10:00~18:00 / 土 10:00~13:00 / 日祝・休)

ホリプロオンラインチケット <http://hpot.jp> (PC・携帯)

TBSオンラインチケット TBS マシュー シンデレラ 検索



◆ぴあ <http://w.pia.jp/t/mbcinderella/> 0570-02-9999 (Pコード:485-454)
セブン-イレブン、サークルK・サンクス、ぴあ各店舗にて直接購入可能

◆e+ (イープラス) <http://eplus.jp/cinderella2018/>
ファミリーマート店内【Famiポート】にて直接購入可能

◆ローソンチケット <http://l-tike.com/mb-cinderella>
0570-084-003 (音声自動応答 Lコード:32016)
0570-000-407 (オペレーター 10:00~20:00)
ローソン・ミニストップ店頭【Loppi】にて直接購入可能

◆Confetti (カンフェティ) <http://confetti-web.com/cinderella2018>
0120-240-540 ※通話料無料 (オペレーター 平日10:00~18:00)

◆Bunkamura
オンラインチケットMY Bunkamura <http://my.bunkamura.co.jp>
Bunkamuraチケットセンター 03-3477-9999 (オペレーター対応 10:00~17:30)
東急シアターオーブチケットカウンター
(渋谷ヒカリエ2階 11:00~19:00) ※発売日翌日以降

[お問合せ] ホリプロチケットセンター
03-3490-4949 [Facebook](https://www.facebook.com/mbcinderella_jp) [Instagram](https://www.instagram.com/mbcinderella_jp) [Twitter](https://twitter.com/mbcinderella_jp) @mbcinderella_jp





愛を見つけても突如として奪われる——
魔法のような夜に出会い恋に落ちた2人は
ロンドン大空襲の中、引き裂かれる
マシュー・ボーンが贈る、スリングで刺激的なラブストーリー!

★★★★★
極上の喜び

デイリー・テレグラフ紙



実に巧みなボーン。

おとぎ話らしいロマンスの星屑で舞台をきらめかせながらも、
ストーリーには涙をさそう重厚さを持たせた。
星たちは常に暗闇に囲まれているというのを思い出させてくれる。

ガーディアン紙

まばゆいばかりのスペクタクル。

新鮮かつ力強く、愉快で奥深く、見事なまでに独創的。
ボーンの比類なき才能は注目せずにいられない
エンターテインメントを生み出している。

タイムズ紙

ボーンの最高傑作。

まるでプロコフィエフが彼のために曲を書いたのかと
思わせるほど動きが音楽とびったり合っている。
この『シンデレラ』には観客を夢中にさせる
ロマンス、ファンタジー、楽しさが詰まっている。

タイムアウト誌





Sir Matthew Bourne OBE

斬新な手法で古典作品を新解釈する、英国バレエ界の奇才

マシュー・ボーンが語る、「シンデレラ」

私が1940年のロンドン大空襲を舞台にした『シンデレラ』を創ろうと思ったきっかけは、ある種のパワーと予感、そしてプロコフィエフ音楽の魔法に促されたからです。

私はロイヤル・バレエ団によるフレデリック・アシュトン版『シンデレラ』を観て、初めてプロコフィエフの音楽に恋をしたのです。『眠れる森の美女』などの偉大なるチャイコフスキー・バレエと同じ形式で、おとぎ話のために作曲されているにも関わらず、プロコフィエフ特有の20世紀的な音楽性がそこかしこに散りばめられていました。名だたるチャイコフスキー・バレエ作品と同じく、グランドワルツ、妖精のヴァリエーション、マズルカ、伝統的ダンスが含まれているのに、そのおとぎ話の魔法の奥底にリアルな感情やドラマチックな欲望が脈打っているのです。これらは繰り返し聴きたいと思わせるプロコフィエフ音楽の特徴で、聴く度に頭から

離れなくなります。プロコフィエフの『シンデレラ』は1946年にモスクワのポリショイ劇場にて初演。人気を博したアシュトン版は1948年に上演。実はプロコフィエフが本作の楽曲を第二次世界大戦中に書き上げたということを聞いて私は大いに興味を抱き、考えました。歴史に残る暗黒時代の雰囲気は何かしらの形で音楽に反映されているのではないだろうか？ されている、と私は感じました。そして「シンデレラ」の物語を読み込めば読み込むほど、戦時中に設定するのがピットリだと思ったのです。暗くロマンティックなトーン。一瞬一瞬がすべてであり、愛を見つけても突如として奪われてしまう時代。そして世の中は、まるで明日がないかのように慌ただしかった。

この時代に犠牲を払った人々、愛を見つけた人々、もしくは愛を失った人々の精神や勇気が、この作品に描かれていることを願います。

Works

世界が魅了される斬新なアイデアと独創性!



©Bill Cooper

『白鳥の湖』

2003年

白鳥役を全員男性が演じ、メガヒット! 日本でマシュー・ボーンの人気を不動のものとした代表作。



©Simon Annand

『くるみ割り人形』

2004年

原作にアレンジを加え、孤児院で暮らす主人公が、夢の中でカラフルなキャラクターたちと出会う。



©A. Groeschel

『シザーハンズ』

2006年

大ヒット映画を舞台化。劇場内に雪を降らせるなど、美しくスケールの大きな演出で観客を魅了した。



©田中亜紀

『ドリアン・グレイの肖像』

2013年

自身初の日英共同製作作品。リチャード・ウィンザーと大貫勇輔がダブルキャストで主演し、話題となった。



©Johan Persson

『眠れる森の美女』

2016年

ヴァンパイアを登場させ、目覚めたら21世紀という斬新な設定で観客を驚かせた。

※年表記は日本初上演年

